

平成23年度 女性コーディネーター養成講座 「大崎塾」事業報告

	月 日	テーマ	講師	参加者
第1回	11月5日	コミュニケーションの基本と実践について	黒田敬子	19名
第2回	11月19日	家庭や職場で、活かせるリーダーシップとは？		14名
第3回	12月3日	男女共同参画がもたらす社会		16名

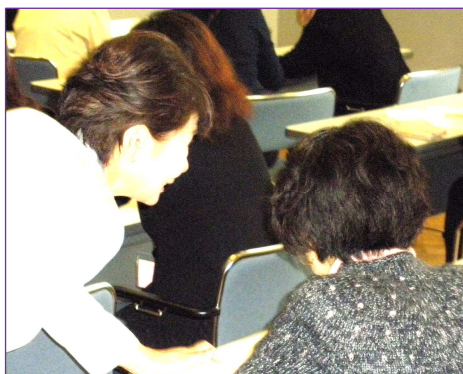
東日本大震災の影響で、遅れていました「大崎塾」は、規模を縮小して講師に（有）キャリアコム代表取締役 黒田敬子先生を招いて3回シリーズで開催しました。

【第1回】

初回の緊張をほぐすために、隣の人にインタビューし紹介するという手法を行いました。年齢や経歴など自分では話しにくい部分を紹介してしまう事もありましたが、笑いが絶えない隣人紹介？でした。

受講生は、リーダーシップやコミュニケーションの手法を学び家庭や地域・職場で活かすために参加している前向きな方々です。

第1回目は、3班に分かれて、講師が出題した問題に取り組みました。



（講師にアドバイスを頂きインタビュー中）



（問 題）

- ① 「風が吹けば桶屋がもうかる」のは何故？
- ② タウンページ調べで、愛媛県・宮城県・神奈川県のうちカラオケ店の多い県は、何処？

【第2回】

コミュニケーション能力の偏りについて、44の設問に5項目（自己概念・傾聴・明確な表現・感情の取り扱い・自己開示）にわたる分析を行いました。ここでは、五角形の形に着目しました。

教材「バスは待ってくれない」を用い、2班でのグループワークを実施しました。「リーダー」及び「リーダーシップ」を学びました。内容は、各グループに21枚のメモを渡し、受講生に3～4枚のメモを配ります。そのメモを頼りにバスで隣町の病院へ行くための地図を作成するというもの。メモは、①誰にも見せない。②必ず口頭で伝える。ことがルールです。

結果、地図を完成できたのは、1班のみでした。その班は、一人の発言に傾聴し、それに続く情報を出しあい、まとめようとする活気が見られました。初めての試みとして課題「市民参加型のイベントを企画する」を出し、終了しました。



（自己分析中）

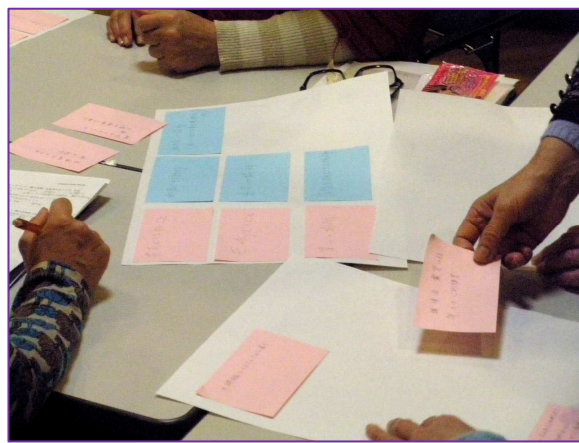
【第3回】

男女共同参画について、ワークライフバランスの重要性やジェンダー意識について、学びました。グループワークは、前回の課題「市民参加型のイベントを企画する」を3班に分かれ、「季節」「場所」「あったら良いもの」など自由な発想で、企画する手法で実施しました。

A班 コンクールやオーディション（大崎市発信のアイドル発掘）

B班 ハンドマッサージと会話、ヨガ（こころや身体のケア）

C班 大崎の宝さがし（グルメ・地場産品を使用したパパママクッキング）



* この企画から、実際にイベントを実現させるため、もう1回「大崎塾」を開催することになりました。